



産業廃棄物処理計画書

令和5年 8月 29日

函館市長 様

提出者

住 所 函館市弁天町20番3号

氏 名 函館どつく株式会社

代表取締役社長 服部 誠

電話番号 0138-22-3111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	函館造船所
事業場の所在地	函館市弁天町20番3号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	輸送用機械器具製造業
② 事業の規模	前年度の売上 207億円 (全社)
③ 従業員数	413名 (函館造船所)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	運搬・処理業者に委託 別紙 フロー図参考

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
 代表取締役社長 函館造船所長 総務部長 マニフェスト管理責任者  
 艦船修繕部長 廃棄物管理責任者  
 造船部長 廃棄物管理責任者

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	1.03 t	45.731 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	1.0 t	46.0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後、生産増になる為、削減計画はしていない。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他廃棄物の混入防止
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状のまま

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
代表取締役社長 函館造船所長 総務部長 マニフェスト管理責任者  
艦船修繕部長 廃棄物管理責任者  
造船部長 廃棄物管理責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

② 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	一般廃油	鉍物性油
	排出量	51.76 t	424.53 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	一般廃油	鉍物性油
	排出量	50.0 t	425.0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後、生産増になる為、削減計画はしていない。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他廃棄物の混入防止
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状のまま

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
代表取締役社長 函館造船所長 総務部長 マニフェスト管理責任者  
艦船修繕部長 廃棄物管理責任者  
造船部長 廃棄物管理責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

③ 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	排出量	3.78 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	排出量	4.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後、生産増になる為、削減計画はしていない。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他廃棄物の混入防止
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状のまま

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
代表取締役社長 函館造船所長 総務部長 マニフェスト管理責任者  
艦船修繕部長 廃棄物管理責任者  
造船部長 廃棄物管理責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

④ 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	鉾さい
	排出量	291.775 t	392.562 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	鉾さい
	排出量	300.0 t	400.0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後、生産増になる為、削減計画はしていない。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他廃棄物の混入防止
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状のまま

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
管理体制図) 代表取締役社長 函館造船所長 総務部長 マニフェスト管理責任者 艦船修繕部長 廃棄物管理責任者 造船部長 廃棄物管理責任者		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
⑤ 現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	6.1 t
	アスファルト・コンクリート破片（がれき類） 3.7 t	
(これまで実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	6.0 t
	アスファルト・コンクリート破片（がれき類） 4.0 t	
(今後実施する予定の取組) 今後、生産増になる為、削減計画はしていない。		
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他廃棄物の混入防止	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状のまま	

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
 代表取締役社長 函館造船所長 総務部長 マニフェスト管理責任者  
 艦船修繕部長 廃棄物管理責任者  
 造船部長 廃棄物管理責任者

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

⑥ 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	排 出 量	0.68 t	617.708 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物
	排 出 量	1.0 t	620.0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後、生産増になる為、削減計画はしていない。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他廃棄物の混入防止
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状のまま

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	無し
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 該当なし	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	無し
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 該当なし	



(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	無し
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 該当なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者に委託する。	

② 計画	【目標】別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)  優良認定処理業者に委託する。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



## 産業廃棄物フロー図

品目	収集・運搬業者	中間処分先	中間処理方法	最終処分の方法 (例：焼却後・埋立、リサイクル等)
混合廃棄物	⇒ (株)佐々木事業所	⇒ (株)サンアール	⇒ 選別処理	⇒ RPF製造 (ボイラー燃料)
	⇒ (株)西武建設運輸	⇒ (株)西武建設運輸	⇒ 無	⇒ 管理型・安定型 埋立 ⇒ 売却 (金属) がれき (再生原料) ⇒ 管理型・安定型 埋立
木くず	⇒ (株)佐々木事業所	⇒ (株)サンアール	⇒ 破碎処理	⇒ 木チップ (ボイラー燃料)
廃プラスチック	⇒ (株)佐々木事業所	⇒ (株)サンアール	⇒ 選別処分・破碎	⇒ 売却 (再生原料)
				⇒ 安定型 埋立
鉍さい	⇒ (株)佐々木事業所	⇒ 北清えさし(株)	⇒ 無	⇒ 管理型埋立
がれき類	⇒ (株)佐々木事業所	⇒ (株)かみ杉澤事業所	⇒ 破碎処理	⇒ コンクリート再生品
				⇒ アスファルト再生品
廃アルカリ	⇒ (株)西武建設運輸	⇒ 西武建設運輸(株)	⇒ 焼却	⇒ 管理型埋立
ガラスくず、 コンクリートくず 及び 陶磁器くず	⇒ (株)佐々木事業所	⇒ (株)サンアール	⇒ 選別処理	⇒ 管理型・安定型 埋立
				⇒ 売却 (金属) がれき (再生原料)
汚泥	⇒ (株)西武建設運輸	⇒ 西武建設運輸(株)	⇒ 焼却	⇒ 管理型埋立
	⇒ (株)佐々木事業所	⇒ 北清えさし(株)		
廃アルカリ	⇒ (株)西武建設運輸	⇒ 西武建設運輸(株)	⇒ 焼却	⇒ 管理型埋立
廃油	⇒ (株)西武建設運輸	⇒ 西武建設運輸(株)	⇒ 焼却	⇒ 管理型埋立
	⇒ 函館環境衛生(株)	⇒ 函館環境衛生(株)	⇒ 油水分離	⇒ 売却 ⇒ 焼却